

CCJ 地域連携室だより vol.10

平成 22 年 2 月吉日

スタッフ紹介

内科部長

熊倉 久夫

【プロフィール】

昭和 56 年 群馬大学医学部卒業
群馬大学 第二内科入局 高血圧研究グループ所属
昭和 57 年 国立病院機構高崎病院
昭和 58 年 公立藤岡総合病院
昭和 59 年 群馬大学病院 画像診断・核医学科入局
腎血管性高血圧に対する経皮的血管拡張術を開始
昭和 61 年 埼玉県立循環器呼吸器病センター
昭和 62 年 館林厚生病院
平成 1 年 北関東循環器病院開設時より 内科部長
平成 2 年 下肢閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療を開始



【専門分野】

循環器疾患、特に血管病に対するカテーテル治療

【所属学会等】

脈管学会評議員、血管内治療学会評議員、
フットケア学会評議員、
心臓血管内視鏡学会評議員

【認定・専門資格】

脈管専門医、循環器専門医、腎臓専門医・指導医、
インターベンショナルラジオロジー専門医、内科認定医、
医学博士、群馬大学医学部講師

【趣味・特技】クラシック音楽鑑賞

【好きな食べ物】麺類

【好きな言葉】

機に臨んで譲ることなく、事に当たって再び思う

【日ごろから心がけていること】

病気の治療にはいろいろな選択肢があることを
十分説明すること

血管病外来の紹介

当院では、毎週、水曜午後に血管病の専門外来を行っております。特に、足の血行障害、足の血管の閉塞による閉塞性動脈硬化症を中心に、足の血管病の診断と治療を行っています。まずは、超音波やサーモグラフィー、ABIなどの無侵襲診断装置を使用して検査し、適切な診断を行います。下記のような症状がありご心配されている患者さんがいらっしゃいましたらご紹介下さい。

(重症度分類より)

1度:足が冷たい、しびれる。(無症状の場合も多い)

2度:少し歩くと足が痛くなり、休むとまた歩けるようになる。(間歇性跛行と言います)

3度:安静していても足が痛く、皮膚の血色が悪い。(安静時疼痛)

4度:足の傷の治りが悪く、潰瘍や黒色の皮膚変化がある。(潰瘍、壊疽の状態)

* 3度、4度は重症虚血肢とされ早急な治療が必要になります。

その他、手足の動脈だけでなく、下肢静脈の障害や静脈瘤、全身血管(頸動脈、腎動脈、胸部・腹部大動脈)の診断や治療、血管年齢や動脈硬化度などを診断します。

血管病専門外来

毎週水曜日 14:00 ~ 17:00(要予約)

血管病セカンドオピニオン外来

月・水・土曜日 11:00 ~ 12:00(要予約)

平成 21 年 11 月 ~ 平成 22 年 1 月

平均在院日数:17.3 日

平均外来患者数:276.7 人/日